

Keep On Researching

2013 年 10 月 2 日
発行
明石北高等学校
研究推進部

9 月 28 日(土) 午後、SSH 生徒研究中間発表会が体育館で行われました。

アドバイザーとして、大阪府立大学の石原先生（生物分野）・神戸薬科大学の高橋先生（化学分野）をお招きし、保護者の方や近隣中学生、そして本校の先生方もたくさん来て下さいました。最初に校長先生の御挨拶、それから水野先生が本校の「自然科学探究」概要を説明された後、2 年生自然科学科 8 班の口頭発表です。発表 7 分、質疑応答 3 分の各班 10 分でした。

発表内容は以下の通りです。

- 「最短経路問題」
- 「吸水性ポリマー中のイオンについて」
- 「乳酸菌の可能性」
- 「REMAKE THE POND!」
- 「空気中の酸素の体積組成」
- 「高効率風車の制作」
- 「ガウス加速器～加速の限界に挑む～」
- 「カードゲームの確率の解析」



↑ パワーポイントを使った発表風景

それぞれの班で発表を工夫し、分かりやすく説明をすること・質問に答えること・これからの方向性を見つけることと、課題はたくさんでした。厳しいご意見もありましたが、今後の探究活動に向けて、充実した時間を持ちました。発表会の日、いくつかの運動部が試合で、参加できない 2 年生の自然科学科の生徒がいましたが、月曜日にはクラスメイトにどんな様子だったかを聞き、午後の「自然科学探究」の時間には目標を確認していました。

その後、ポスター展示の前でさらに質疑応答を受けました。アメリカ研修のポスターも展示し、研修に参加した普通科の生徒 3 名が説明を担当しました。「探究」のポスターも「アメリカ研修」のポスターも職員室前に掲示していますので、ぜひ一度見てください。



←ポスター
前で質問を
受ける生徒

参加した
中学生 →

